



# 子どもは町の宝

～チルドレンファースト～

松田町長 本山 博幸



年頭にあたり、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

陰陽五行説から見た2022年の干支「壬寅」は、「陽氣を孕み、春の胎動を助く」とされ、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれることを表していると言われています。

約2年間、新型コロナウイルスが住民の命や暮らしを脅かし、地域経済にもさまざまな影響を及ぼしましたが、これまで温められてきたエネルギーが、表に現れるべき新たな年を迎えました。今後新たな変異ウイルスによる感染拡大の第6波が危惧されていますが、医療関係者などの皆さまに感謝し、引き続きご協力を賜り、町民の皆さまが安心して暮らせる状況を保てるよう取り組んでまいります。さて、本年は、新たな町づくりの考え方として「チルドレンファースト」を念頭にした新たな町づくりを進めてまいります。**子どもは町の宝・主役**

と考へ、子どもが**「住みたい・住み続けたい町」**へ**「オール松田」**で**「協働・連携協力」**による新たな町づくりに資する事業をスタートさせます。

●松田小学校校舎が全国3例目（神奈川県初）の木造3階建て校舎として本年1月末に完成予定です。3月には、現在の校舎解体を進め、令和5年2月末には、グラウンド整備工事などが完成予定です。

●新松田駅周辺整備事業は、子どもたちの希望を備えた魅力ある駅周辺施設を整備できるよう地権者の皆さまや関係の皆さまのご協力を賜り着実に進めます。

●子育て世代や子どもたちが望む広場や公園の再整備を行います。

●アーバンスポーツやeスポーツができる環境整備計画を策定します。

●スポーツ施設を活用したスポーツツーリズムによる新たな観光客の誘致による地域経済の活性化を目指します。

●令和3年5月に神奈川県下14町村の中で唯一SDGs未来都市に選定された町として、キヤッシュレス化&ペーパーレス化の推進、AIを活用したデマンドバスの導入可能性調査、ゴミの減量化、再生可能エネルギー利用の普及強化などの実施に向けて事業を進めます。

これら未来に向けた事業を進めるには**「選択と集中」**により**「我慢すべきことは我慢する」**

考へを町民の皆さまと共通の認識として持たなければなりません。**「できる人が、できる時に、できることをする」**といったお互いで支えあう町づくりにご協力をお願いいたします。

結びに、まだコロナ禍が続いており注意が必要ですが、町民の皆さまにおかれましては、今年もお健やかに過ごしいただき、元旦に描かれた夢や想いをぜひとも**「カタチ」**として成就されることを心からご祈念申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。